



市議会だより



平成十八年第三回三豊市議会定例会

平成18年第3回三豊市議会定例会は、9月8日から9月27日までの20日間の日程で開かれました。

今定例会では、三豊市総合計画審議会条例など25議案と、決議1件を可決・承認し、人事案件3件と農業委員会委員を同意・推薦したほか、平成17年度一般会計及び各特別会計など、決算30件と他1件を継続審査としました。



初日には、三豊市一般会計補正予算9億9,593万2千円の増額補正予算案など、21議案の提案理由についての説明があり、続いて提出議案について4名の議員が質疑を行いました。13日・14日・15日の3日間にわたり20名の議員が一般質問を行いました。常任委員会に付託された各議案の細部にわたる委員会審査は19日・21日・25日に教育民生、20日に総務、21日に建設経済の所管事項について行われました。平成17年度旧7町・三豊市一般会計及び特別会計決算認定30議案を決算特別委員会（眞鍋昌年委員長）に付託しました。27日の最終日には、所管の委員会に付託していた審議結果について、各委員長から報告があり、2議案を除き原案承認の報告がありました。

議案227号人権尊重都市宣言については、原案を修正して可決を、議案223号三豊市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例は、継続審査との報告がありました。5名の議員が討論を行い、採決の結果、修正案を可決し、25議案を委員長報告どおり可決しました。飲酒運転撲滅に関する決議を全会一致で可決しました。人事案件 議案238号・239号人権擁護委員候補者の推薦について 同意しました。〔人権擁護委員〕 ・藤村 隆氏（詫間町松崎） ・辻 演美氏（仁尾町仁尾） 議案240号山本町財田大野財産区管理委員の選任に同意しました。〔管理委員〕 ・為広 員史氏 ・宮武 英樟氏 ・田淵 恒雄氏 議会選出の農業委員会委員を推薦しました。〔農業委員会委員〕 ・為広 員史氏 ・藤田 公正氏 ・小林 照武氏 ・眞鍋 昌年氏

議会日誌

9月

21日	建設経済常任委員会 教育民生常任委員会 三豊総合病院組合議会
25日	教育民生常任委員会 議会運営委員会 全員協議会
26日	三豊市・観音寺市学校組合議会 定例会
27日	まちづくり調査特別委員会 防災対策調査特別委員会 行財政改革調査特別委員会
29日	総務常任委員会視察研修 議員研修会
4日	議会広報委員会
5-3日	議会広報委員会
10月	行財政改革調査特別委員会 中部広域競艇事業組合議会 議会広報委員会
11日	議会広報委員会
13日	議会広報委員会
17日	防災対策調査特別委員会 議会広報委員会
18日	議会広報委員会 決算特別委員会

三豊市議会だよりの発行・編集は

三豊市議会・議会広報委員会

〒769-1593 三豊市豊中町本山甲201-1 62-1135

平成18年第3回三豊市議会定例会 審議結果

議決年月日、平成18年9月27日

市議会だより

議案番号	案 件	付託委員会	議決の結果
議案第217号	専決処分の承認を求めることについて(三豊市行政組織条例の一部を改正する条例)	総 務	原案承認(全会一致)
議案第218号	三 豊 市 総 合 計 画 審 議 会 条 例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第219号	三 豊 市 介 護 サ ー ビ ス 事 業 基 金 条 例	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第220号	三 豊 市 情 報 公 開 条 例 の 一 部 を 改 正 す る 条 例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第221号	三 豊 市 手 数 料 条 例 の 一 部 を 改 正 す る 条 例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第222号	三 豊 市 国 民 健 康 保 険 条 例 の 一 部 を 改 正 す る 条 例	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第223号	三豊市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	教 育 民 生	継続審査(賛成多数)
議案第224号	三 豊 市 交 通 傷 害 保 険 条 例 を 廃 止 す る 条 例	総 務	原案可決(賛成多数)
議案第225号	三 豊 市 み の 観 光 館 条 例 を 廃 止 す る 条 例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第226号	字 の 区 域 変 更 (藤 前 地 区) に つ い て	建 設 経 済	原案可決(全会一致)
議案第227号	人 権 尊 重 都 市 宣 言 に つ い て	教 育 民 生	修正可決(賛成多数)
議案第228号	平成18年度三豊市一般会計補正予算(第3号)	総務・建設経済・ 教育民生(関係部分)	原案可決(全会一致)
議案第229号	平成18年度三豊市地域農産物利用促進センター事業特別会計補正予算(第1号)	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第230号	平成18年度三豊市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第231号	平成18年度三豊市国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第1号)	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第232号	平成18年度三豊市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第233号	平成18年度三豊市介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第234号	平成18年度三豊市集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第235号	平成18年度三豊市港湾整備事業特別会計補正予算(第1号)	建 設 経 済	原案可決(全会一致)
議案第236号	平成18年度三豊市病院事業会計補正予算(第1号)	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第237号	三豊総合病院組合規約の一部変更について	教 育 民 生	原案可決(賛成多数)
議案第238号	人権擁護委員候補者の推薦について		原案同意(全会一致)
議案第239号	人権擁護委員候補者の推薦について		原案同意(全会一致)
議案第240号	財産区管理委員の選任同意について		原案同意(全会一致)
議案第241号	三豊市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第242号	工事請負契約の変更について	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第243号	工事請負契約の変更について	教 育 民 生	原案可決(賛成多数)
議案第244号	動 産 の 買 入 れ に つ い て	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第245号	三豊市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		原案可決(全会一致)
決議案第2号	飲酒運転撲滅に関する決議(案)		原案可決(全会一致)
	三豊市農業委員会委員の推薦について		推 薦(全会一致)
請願第2号	請願の取り下げ(「中小企業特別無担保・無保証人融資制度」の創設を求める請願書)		許 可(全会一致) 平成18年9月15日

議案第187号～議案第216号までの平成17年度決算認定関係30議案は、決算特別委員会に付託され継続審議となる

市の関連屋外・屋内の安全対策について

横山 強議員

質問 保育・幼稚園、小・中学校、市施設、プールの設置管理と設備点検について伺いたい。

答弁 各学校、幼稚園は遊戯及び水泳時の監視員2名、公園遊具は職員、管理委託業者に依頼、安全点検をしているところである。尚、各設備は旧町において、十分安全管理がされ、合併時に改めて再点検はしていないが、定期的点検を引き継ぎ安全確認した。

質問 今後の市施設用具、病院施設等の設置危険防止安全対策の市政を伺う。

答弁 市関連施設の安全対策については、事故防止マニュアルを作成、内容を職員に徹底、常に事故防止に努めている。

答弁 現在まで病院のエレベーターが5回故障したが、人身事故はなかった。今後、安全で取り扱いの良いものにリニューアルしたい。

行財政改革の取り組みについて

川崎 秀男議員

質問 行財政改革における経常経費の削減、総人件費の削減、組織機構の抜本的見直しと遊休施設の活用について伺いたい。

答弁 提言を真摯に受けとめ、合併効果を最大限に生かすよう取り組んで参りたい。

質問 不登校児童、生徒について伺いたい。

答弁 小学校に11名、中学校に46名いるが、不登校対策教育支援センターを設置し、対策にあたっている。

質問 香川用水の導水トンネル及び財田川サイフォンの耐震対策について伺いたい。

答弁 水資源機構の調査では、現在通水に異状は確認されていないが、財田サイフォンについては、平成20年度以降に調査する。



鳥坂インターアクセス整備どうする

小林 昭武議員

質問 詫間大橋に至る、詫間カントリー前付近の交通渋滞解消対策と、大椀池付近や瀬戸製作所付近の県道の線形改良事業への計画と今後の見通しを問う。

答弁 「新的場橋の増幅架け替え及び右折レーンの延長により、現在の交通渋滞を解消したい。」として、県当局との協議を進めたい。

ゴミ分別への行政不均衡は許せない

質問 「黒いゴミ袋での生ゴミ出しでは、積み残されるはずの生ゴミ袋が、一部の地域では問題なく運んでくれてるのは許せない。」とした苦情は本当なのか。

答弁 指定ゴミ袋制度の周知不徹底で、一部でそうした事例もあった。今後はイエローカードを貼るなどして、収集をしないよう現場への指示をしている。

本庁舎、ゴミ収集運搬について

眞鍋 昌年議員

質問 本庁舎建設については、特例債の活用の中の10年間に、あるが、昨今の財政状況の中で、はたして豊中町の寿工芸の跡地に建設するの否か。また、高瀬町へ移転するお気持ちはあるのかどうか、お聞きします。

答弁 現在、三豊市の財政力指数は県下最下位の8位です。極めて脆弱で、全ての借入金に450億円程あり、若い人程建設に反対であり、見直しや客観的な評価が必要で、今年中に答えを出したいと思っています。

質問 ゴミ収集運搬業務は、各町で直営と委託と異なっていますが、経費を軽減のため統一してはどうでしょうか。

答弁 収集運搬業務につきましては、現在の委託において問題点はなく、近い将来には全てを民間委託にしたいと思っています。

クリーンセンター(ゴミ)について

山本 明議員

質問 残余年数短い最終処分場を作る考えは。

答弁 早急に取り組まなければならぬ課題であり、焼却灰の処分方法を含め関係機関と協議していきたい。

質問 三豊市の目指すのはゴミ0である。ゴミを溶融するか再資源化するか、観音寺市と意見が一致すべきと考えるので、市長並びに行政当局と真剣な話し合いをしたい。

質問 竹林荒廃について伺う。

答弁 市で検討委員会を設置し、「新エネルギー策定事業」の中で検討し、市内で増え続ける荒廃竹林対策を側面から支援したい。

他に防災行政無線の整備について、地上デジタル移行時の難視聴対策について及び農地・水・環境保全向上対策、中山間等直接支払事業の取り組みについて質問をした。

調整池周辺の利活用と進捗状況

金子 辰男 議員

質問 渇水時の緊急水道水源として、貯水容量300万立方メートルの調整池を、独立行政法人水資源機構が建設中であり、調整池周辺に出来る南造成地・北造成地を、三豊市としてどのように利活用されるのか、進捗状況と合わせて伺います。

答弁 香川用水調整池は、平成20年度の試験貯水に向けて整備が進められております。公園というような非生産的なものではなく、何か生産活動が出来るようなものにならないか、生産拠点であり、かつ自然の中で心が癒される周辺環境を、考え合わせた案を出すべきだと考えております。造成地は、土地所有者である水資源機構から、借り受ける形が有力になります。

公害のない安全で安心な街づくり

為広 員史 議員

質問 養鶏場での鶏糞の処理により、夜間・早朝等に臭う嫌な臭いについて。

答弁 周辺に養鶏場を持つ地域で、生活をされている方々にとりましては、不快な臭いは耐え難いものであると理解しております。養鶏業者には、引き続き改善をお願いし、香川県とも連携をとりながら指導に努めます。

質問 プラスチックのリサイクルを、全市で実施するのはいつからか。

答弁 19年度の早い時期に実施します。

質問 本所・支所や学校等行政機関のゴミの搬出方法は。

答弁 市民に不平等感や誤解を受けないよう努めます。

質問 洪水・土砂災害ハサードマップの作成が義務付けられているが、当市の対応は。

答弁 本年度末までに、作成します。

男女共同参画社会について

藤田 公正 議員

質問 新生三豊市の男女共同参画社会の実現に向けた施策はどのように。

答弁 男女共同参画社会の推進プランとして、平成20年から24年の5年間の活動を具体化するために、公募委員3名を含む15名以内で、男女共同参画社会推進委員会を年度内に設置する予定。

質問 この事は「心」の問題と考えている。したがって地域と行政が一体となつて取り組み、実践することが重要と思う。そこで豊かな暮らしのために「食」による健康づくりに取り組んでどうか。ゴミ作戦等も同じことが言えると思う。

答弁 提案の「食」による健康づくりは重要と考えている。指摘のように「心」の問題であり、テーマの一つとして実践していきたい。

祭り関係補助金・農村公園について

十鳥 彰 議員

質問 本年度は一箇所当たり10万円から約700万円と幅のある予算が11箇所に貼り付けているが、来年度は見直しをする必要があると思うが、どう取り組むのか。

答弁 合併後の新市で調整が必要との認識を持ちながらも、行革推進委員会では、補助金のあり方が厳しく指摘をされており、この点十分検討し、また十分に主催者や関係者の意見を伺うことは、忘れてはならないと思っている。

どぶろく祭りも誇るべき祭りであり、私達も市民の手で永永と引き継がれている祭りこそ本物と考えている。市はイベントの主催にならず、資金的ではなく、いかに後方支援が出来るかと、現在検討している。

他に農村公園についても質問をした。

新時代の三豊市に

大平 敏弘 議員

教室への空調整備

質問 新高瀬中学校空調施設に端を発した空調整備を、どのように考えているか。

答弁 中学校を中心に確かな学力育成を目指し、教育環境整備のため努力したい。10年リース契約で一中学校年間約160万円、電気代約60万円の経費が必要。



質問 管理の及ばない農地対策は。

答弁 自分たちの地域は自分たちで守るという理念で、地域のリーダーを育成していきたい。



既存施設の有効利用と駐車場の件について

藤田 芳広議員

質問 遊休施設を積極的に賃貸する考えはないのか。

松下寿電子跡地の職員駐車場の使用料は支払われているのか。受益者負担の考えも必要と思われるがどうか。

答弁 民間貸与を含め早急に前向きに検討する。跡地の駐車場使用料は土地開発公社と協議中で、職員間の不公平が生じないよう他市の動向をみて有料化を検討する。

水と緑を大切に共生の町づくり

質問 三豊市内の恵まれた自然環境保全の現状把握と、自然災害対策を含む維持管理はどうか考えているのか。

答弁 現状把握は出来てないが、現在三豊市環境基本計画を策定中で、市内の美しい自然をプラスの資産と考え、環境施策の面から市民の意識改革の啓発に努めながら協力を得て、保全管理に配慮していく。

障害者自立支援法について

瀧本 文子議員

質問 10月から、これまでのサービスが受けられるか、不安の声が聞かれる。利用者1割負担や廃止される事業に対し、市独自の軽減措置・事業の継続を。

答弁 市独自の軽減措置は考えていない。現在行っているサービスは、利用出来るよう対応していく。

質問 小規模作業所は、引き続き支援を。

答弁 安定運営に努力する。

同和行政について

質問 運動団体は、自らの資金で自立した活動が基本。

団体補助金（部落解放同盟1,490万円、自由同和会100万円）は見直し・廃止すべき。行革の中で、同和関係補助金等も例外なく見直しが必要。

答弁 差別は根強く残り、運動団体と協力が必要だが、団体補助金・公園維持費・網の目行動など、行革の中で再検討していきたい。

寿工芸跡地の利活用について

詫間 政司議員

質問 当地は、7町の合併協定で三豊市の本庁舎と位置づけられている。

市長は、4年間の本庁舎建設凍結を公約に掲げ、初代市長となられた。時価16億円の価値のある当地を4年間どう活用するお考えか。案の中に、借金穴埋め目的の売却案はないか。

答弁 合併協議の確認事項は尊重されるものだ。しかし、民意で選ばれた者として現状を見極め、これからの三豊市に何が必要かを見失わないことと考える。

当地は、三豊市の資産の中でも最優良の土地だと思っている。市民の思いと市の将来を思い決断する、非常に重要な問題とも思っている。借金穴埋め目的の安易な売却の考えは全くない。

利活用案の決定は、その時間をかけず決断したい。

合併協議会で決めた庁舎防災センター

金丸 勉議員

質問 合併協議で決めた4年をめどに、豊中町本山甲に特例債で建設するとなっていて、全戸配布の概要書に明記されておりあります。

防災センターの建設は、住民の安心安全を守る為、また防災資材や食糧・毛布・排便袋・幼児のミルク等の備蓄を急ぐので、工芸跡地の事務所に仮防災センターを設置と決めた。それがどうして自治労働員組合の事務所になったのか、その理由は。光熱費・水道代・浄化槽管理代はどうなっていますか。

答弁 私達は、市民の選挙で選ばれ、協議会の流れを変えることが出来ます。防災センターの整備は、有り余る施設があるので必要ないものと考えます。

職員組合事務所としての使用は、市長職務執行者が決裁をして使用させています。

三豊市の水道事業について

眞鍋 時敏議員

質問 取水制限が実施された場合の渇水対策として、旧町の水道管の接続をしては。

答弁 渇水時や緊急時の迂回路、バイパス路を確保する観点から、旧町の送配水管を接続して給水する方法は、合併効果を住民の皆様が実感する重要な施策で、急ぐものは前倒し施工により迅速に対応していきます。

質問 水資源機構吉野川局が、山本町に建設中の原水調整池の地元市としてこの機会をとらえ、工業用水配水について、関係各機関に働きかけをしては。

答弁 企業から新規設備投資に伴う工業用水の増量の要望がありますが、工場用水に振り向ける水源確保が出来ていないのが現状です。この調整池を一つの契機に、今後、水資源機構や県議会並びに県水道局に対し、要望を強めて参ります。



高瀬原下工業団地の現状を尋ねる

多田 治 議員

質問 市の土地開発公社が所有する原下工業団地は、簿価と実勢価が著しく異なり、大幅な事業損失が予想されるが、現状と今日に至った経緯と役員の実任追及を、どう考えているのか尋ねる。

答弁 当団地は、農村地域工業等導入促進法に基づき、平成5年度より用地買収や造成工事を始め、平成11年3月に完成させ、以降高瀬町開発公社が分譲努力をしてきたが、約2万7,600坪が未分譲地として、市土地開発公社に引き継がれた。簿価と実勢価との差額が「特別損失」として、本年度末には13億円強を計上することになる。当時の役員の責任問題については、現在公社の中で、引継ぎに関するのの詳細事項の点検を行っているので、状況報告を受けた後、検討すべきと考えている。

くらしと健康を守る市政運営

岩田 秀樹 議員

質問 全国で療養病床を23万床削減する方針だが、市立病院など療養病床削減に対する対策はどうか。

答弁 突然決定された制度改革により、利用者が追い出されるということが決して起きないように配慮し検討する。

質問 国民健康保険税の、今後の値上げも予定されている。負担力の少ない市民も、安心して医者に掛かれる減免の追加は出来ないか。

答弁 三豊市の減免規定は、災害・農産物の減収以外にないが、減免措置の可能性があれば対応したい。

質問 入札結果のホームページ公表・全入札参加有資格者に発注できる方法として「住宅リフォーム助成制度」や「小規模工事契約制度」を検討出来ないか。

答弁 入札結果は10月より公表。様々な制度については検討する。

三豊市カントリーウォークの推進を

宝城 明 議員

質問 三豊市には、四季折々の特色ある自然、文化、地域に根ざした歴史や景観など、誇るべきものがたくさん残されている。各地域にカントリーウォークのマップを作っているかどうか。

更にカントリーウォークを奨励し、市民の健康増進のため、市民が各地域のすばらしい文物や自然に親しむと共に、市民の一体感の醸成を図ってはどうか。

答弁 住民がそれぞれの地域を知ることによって、三豊市内の相互理解の醸成、また市民の歩くことよっての健康増進など、多様な効果が期待できる。このテーマについては、今後商工観光課を中心に責任部局にして、積極的に取り組んでいく。

質問 広報紙の中に、地域だけのページを作ってはどうか。

答弁 情報政策課で検討する。

現在のサービス、「大綱」(案)に異論

三木 秀樹 議員

質問 最近、憲法が保障している公共サービスの悪化が見られ、危惧するが市長の考えはどうか。

答弁 変化してもセーフティネットは必要。

質問 高齢者に極端な税負担増を強いている。町時代同様に、70歳以上の健康診断は無料に出来ないか。

答弁 1割負担はお願いしたい。

質問 三豊市行政改革大綱(案)に対して、地方自治の神髓が完全に欠落している。コスト面のみを強調し、職員の手を動かす施策がないのではないか。

答弁 市の適正規模及びいかに知恵を使うか、今我々に問われている。

質問 地方交付税が、今後激減する。その度に職員削減が。展望の無い市になるのではないか。

答弁 来年度から総合振興計画で示す。他に2問質問した。

自主財源確保及び職員の服務規程について

鴨田 偕 議員

質問 歳出の削減も大事だが、自主財源確保の施策について伺う。

答弁 持続性のある三豊市を作るためには、地域の経済振興は大事な事です。行財政改革を進める中で、充実した長期振興計画や総合計画を策定します。その中で、農業を中心とした第一次産業の現代的経営の確立、地場産業の隆盛、企業誘致等、経済振興対策を進め、自主財源の確保に努めます。

質問 合併後、職員の服務規程及び懲戒処分基準の統一は出来ているか。

答弁 現在のところ統一は図られていないが、飲酒に絡んだものについては、厳罰主義を取り入れ早急に示します。

